

「あなたならどうする？」(小学校 道徳科)

道徳科学習指導案 (人権教育)

1 主題名 「友だちの気持ちを理解し、助け合う」・4年(1時間扱い)
 B- (10) 相互理解、寛容 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。

2 教材名 「あなたならどうする」(『あけぼの 小学校中学年 四訂版』) ※五訂版から掲載なし

3 主題設定の理由

この時期の子どもたちには、相手の立場に立って考えることの大切さを自覚させながら、集団での共同生活や仲間関係の在り方などについて指導することが大切である。

4月に学級編制をして2ヶ月あまり経った。新しいクラスになったばかりの時は、お互いの様子をうかがうようにしており、友達同士のトラブルも少なかったが、だんだん慣れてきてからは、それぞれの個性が良さとして発揮されるようになってきた反面、自分だけの思いを通そうとする姿も見られるようになってきた。朝や帰りの会では、いろいろなトラブルが出され、話し合われるようになった。しかし、相手に対してどのような態度でどのように話したらよいか、よりよい関わり方ができないこともある。そこで、相手の立場を考えながら、自分の思いを伝えることが大切であることに気づいていけることを願い、本主題を設定した。

資料「あなたならどうする？」は、友達を責めるAさんを仲間に入れなくて、「ちがうあそびをしよう」と言われたときに、自分ならどのように応えるのか、ロールプレイをしながら考えることのできる資料である。実際にロールプレイをしながら、どんなふうに相手に接していくのが自分にとっても相手にとってもいいのかを考えることで、似たような経験をしたときに、一歩でも自分の願う言動が取れることができるようになってほしい。

4 人権教育とのかかわり

○相手の立場を想像しながら自分の思いを伝えていく体験をし、その大切さを実感することができる。
 (価値・態度的側面、技能的側面)

5 本時案

(1) 主眼

友達に厳しい言い方をする友達を仲間に入れなくて、「ちがうあそびをしよう」と言われたときに、どんな言い方をすればいいのか考え合う場面で、ロールプレイや話し合いを通して、相手の立場を想像しながら自分の思いを伝えていくことが大切であることに気づき、友達とのよりよい関係の在り方を考えていこうとする判断力を養う。

(2) 人権教育の視点

・具体的な場面を設定し、実際にロールプレイをしたり、感じたことや考えたことを語り合ったりすることを通して、それぞれの立場(Aさん、Bさん、Cさん)に心を向けながら、相手にとっても自分にとっても心地よい言動のあり方とその大切さに気づくことができるようにする。

(3) 指導上の留意点

・どんな場面でだれの気持ちを考えるのかがわかるように、挿絵を示して確認をする。
 ・それぞれの答え方をしたときの気持ちを発表し合うことを大切にする。

(4) 展開

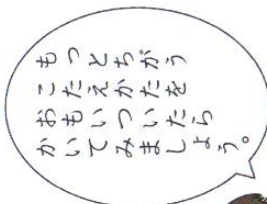
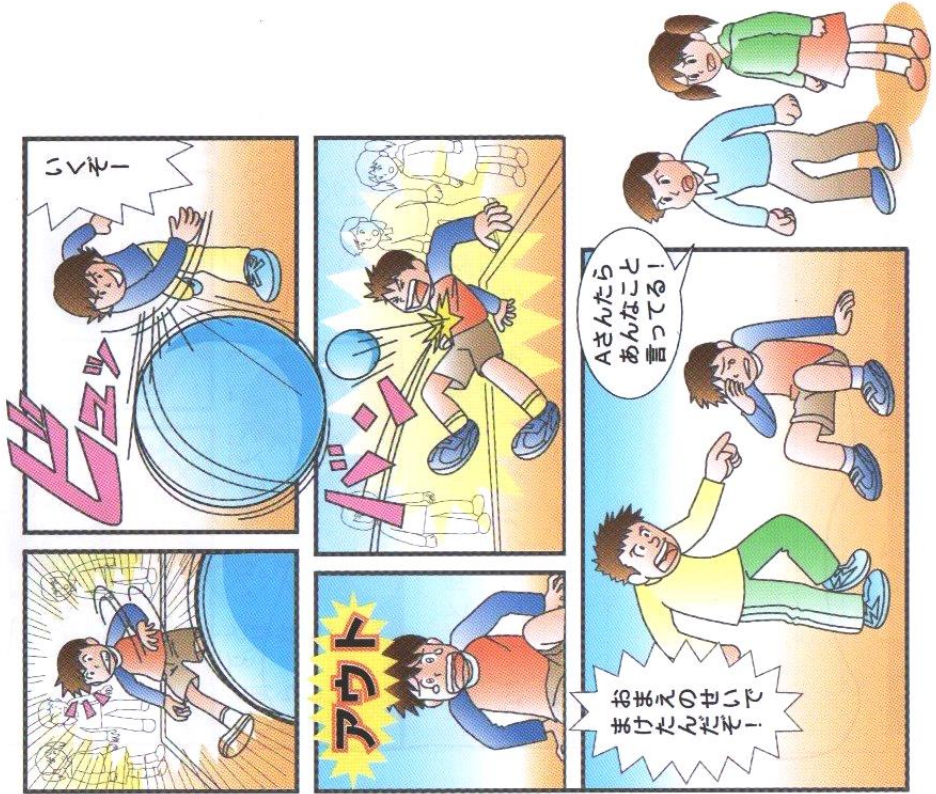
◇人権教育に関わる配慮点

	学習活動	発問・予想される児童の反応	教師の指導 評価の視点	時	備考
導入	1 ドッジボールについて、自分が思っていることを発表する。	○ドッジボールと聞いて、どんなことを思い浮かべますか。 ・ドッジボールは大好き。 ・みんなでやると楽しい。 ・勝つとうれしい。	◇本時の資料への関心を高めるために、ドッジボールへの子どもたちの思いを聞き、受け止める。	5	
展開	2 資料を見て、考え合	○紙芝居を見ながら、話の内容を理解する。	・資料「あなたならどうする」の紙芝居と資料	35	紙芝居

	う。	<p>○どんな人が出てくるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aさん、Bさん、Cさんの3人が出てくる。 <p>A: 強い口調で、「おまえのせいでまけたんだぞ!」とアウトになった子をせめている。</p> <p>B: Aさんの言葉を聞いて、「明日は、Aさんとちがうあそびをしよう。」と言う。</p> <p>C: Aさんの様子を見て、Bさんに言われたことを考えている。</p>	<p>の文章を読ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物がアルファベットのたため、どの子がどういうことをしているのか、確認する。 		
学習問題		「ちがうあそびをしよう」と言われたとき、どのような答え方をすればいいの			学習カード
		<p>○自分がCさんだったら、どんな返事をするか考える。</p> <p>A: うーん、どうしよう。Bさんがそういうなら…。</p> <p>I: そうだね。そうしよう。Aさんとは遊ばないようにしよう。</p> <p>U: そんなことはやめようよ。Aさんに話してみようよ。</p> <p>○グループでロールプレイをする。役割を決めて、演技をする。</p> <p>5人の班→B、B、Cア、Cイ、Cウ 4人の班→B、Cア、Cイ、Cウ</p> <p>○代表のグループが、全体の前でロールプレイをする。</p> <p>○それぞれの返事について、どう思ったのか発表し合う。</p> <p>A: 迷っている。困っている。</p> <p>I: 仲間はずしをしている。ちゃんとAさんと話したほうがいい。</p> <p>U: やさしい。ちゃんと解決しようとしている。Aさんもいけないけれど、Aさんを仲間はずしにしないといけない。</p> <p>○もっとちがう答え方があるか考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しに自分の考えた返事を書く。 ・自分の考えを発表する。(教師がBさんになって、ロールプレイのようにして発表する。) <p><input type="checkbox"/> だめだよ。それでは、Aさんがかわいそうな思いをしてしまう。</p> <p><input type="checkbox"/> Aさんを仲間はずしにしないで、ちゃんと注意をしよう。</p>	<p>○自分の考えを学習カードに記入するよう伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が演技をしているところを見られるよう4～5人のグループにする。 <p>◇グループの友達と協力しながら実施できるように声がけする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前に出て発表してもらう。 <p>◇皆の前で発表できたことを認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アから順番にどう思ったか発表する時間をとる。 <p>◇それぞれの発表を、なぜそう考えたのか問い返し、考えの理由を引き出す。</p>		
おわり	3 今日の学習の振り返りをする。	<p>○学習を振り返って、感想を書いて、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐに決めつけないで、しっかり話し合っ、自分にも相手にもよい方法を考えたい。 	◇お互いが振り返りを共有できる時間をとる。	5	

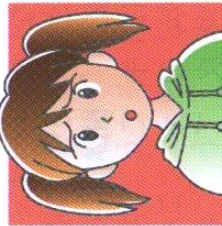
ロールプレイ「あなたならどうしますか。」

Cさんは、たくさんの友だちといっしょにドッジボールがでできる休み時間を楽しみにしています。

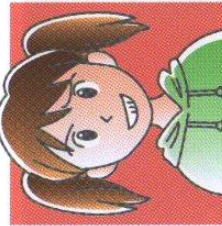
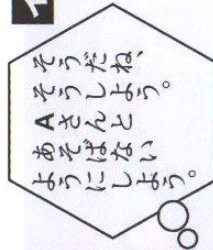


あなたがCさんだったら
どんなへんじをしますか。

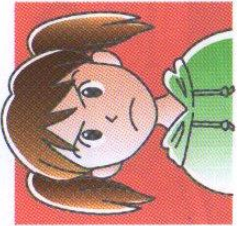
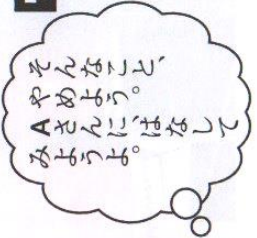
ア



イ



ウ



Four horizontal dashed lines for writing answers.